

# 市民アンケート調査結果

市政に関する市民の皆さんの意見や考えなどを知るため、①「男女共同参画について」、②「市政全般の重要度・満足度について」の2つのテーマで昨年9月に実施した27年度市民アンケートの調査結果がまとまりました。

アンケートの実施方法は、住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の1500人に郵送しました。そのうち、690人の皆さんから回答をいただき、回収率は46.0%でした。

## ①男女共同参画について

この調査では、男女共同参画に関する市民の皆さんの意識について知るため、19項目について伺いました。主な項目の回答結果は次のとおりです。

### 男女平等について

「社会のしきたりや慣習で男女はどの程度平等になっていると思いますか」という問いに対して、「あまり平等でない」「全く平等でない」が合わせて、女性は58.5%、男性は49.1%でした。

また、「男女の役割分担について「男は仕事、女は家庭」と性別によって役割を決めてしまう考え方（性別役割分業意識）についてどう思いますか」という問いに対して、「どちらかといえば反対」「反対」が合わせて、女性は74.7%、男性は63.6%でした。

男女とも23年度調査と比較して、性別によって役割を決めてしまう考えに反対する人の割合は微増しています（右表参照）。

### DV被害について

DV（ドメスティック・バイオレンス、事実婚・別居中を含む配偶者からの暴力）被害について、「DV被害を受けたことがある」と答えた人は女性が14.7%、男性が3.1%で、そのうち、「誰かに打ち明けたり相談したりしましたか」という問いに対して、「家族・親戚に相談した」という女性は41.8%、男性は66.7%で、「友人・知人に相談した」という女性は38.2%、男性は33.3%でした。一方、「どこにも相談しなかった」という女性は49.1%、男性は77.8%でした。

DV被害を相談しなかった理由として多かったのは、「自分にも悪いところがあると思った」「自分さえ我慢すればこのままやっていけると思った」「相談するほどのことではないと思った」という回答の順になっています。いかなる場合でも暴力は決して許されるものではありません。DV被害者が自分だけを犠牲にせず、また一人で悩むことなく周りの人に相談するなど自ら発信していけるよう、今後も本市では啓発に努めていきます。

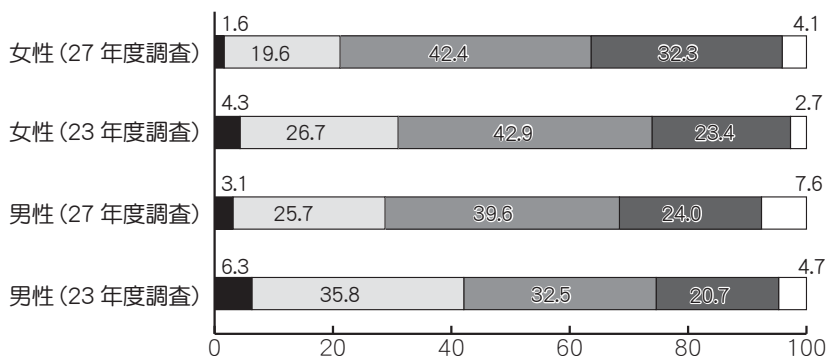
### 「富田林市男女が共に生きやすい社会づくりを推進する条例」について

同条例（23年4月1日施行）の周知度について、「知っている、聞いたことがある」という女性は23.7%、男性は18.6%でした。また、制定されてから16年が経過した国の「男女共同参画社会基本法」の周知度について、「知っている、聞いたことがある」という女性は58.5%、男性は68.8%でした。

本市における男女共同参画施策を推進する法的根拠となる同条例について、今後とも、その周知に努めるとともに、男女が性別にとらわれず互いの人権を尊重しつつ責任も分かち合い、個性と能力を十分発揮できる社会の実現をめざして取り組みを進めていきます。

### 性別役割分業意識について（単位：%）

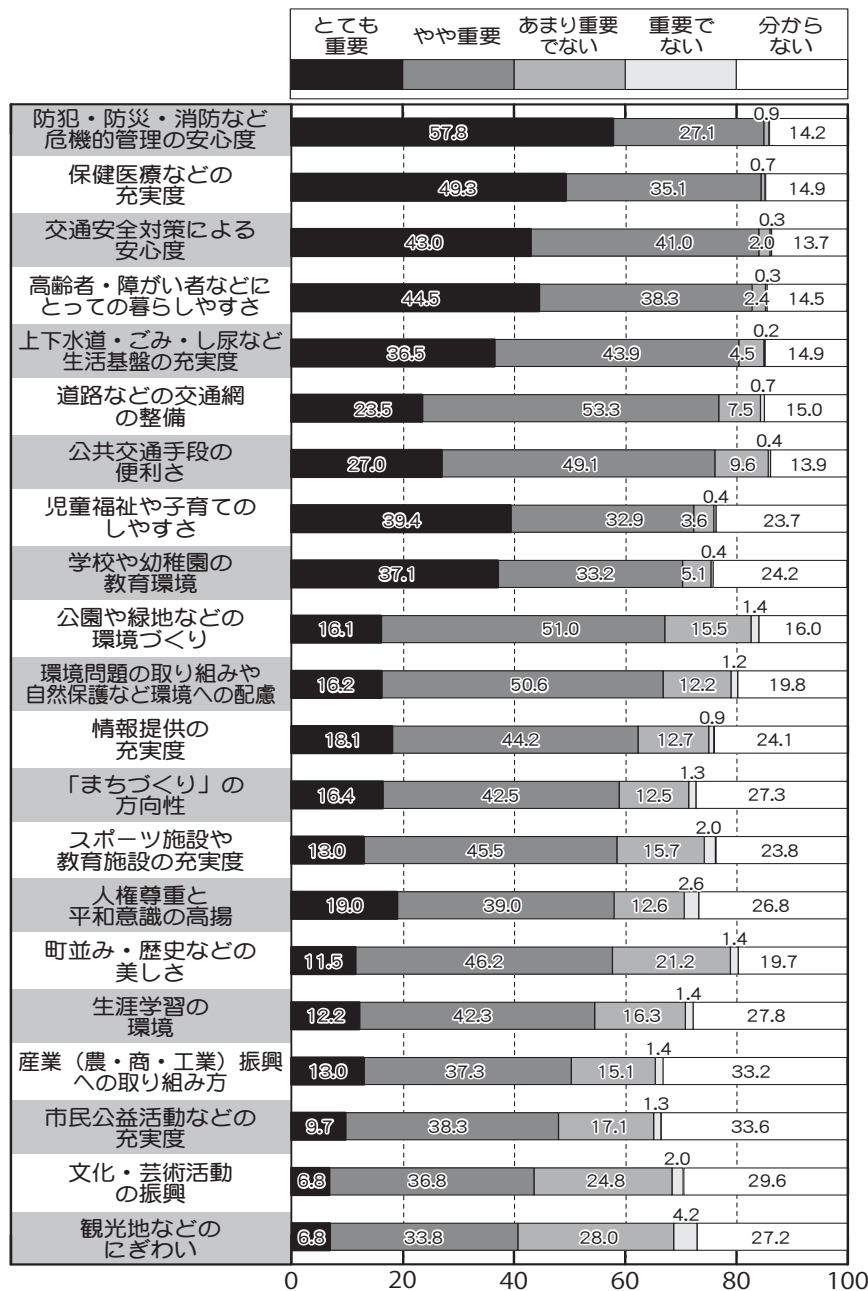
■ 賛成 □ どちらかといえば賛成 ■ 反対 ■ どちらかといえば反対 □ 不明



## ②市政全般の重要度・満足度について

この調査では、市政全般の重要度・満足度についてをテーマに、21項目について、重要度と満足度を伺いました。重要度と満足度の高かった項目は次のとおりです。

### 市政全般の重要度について（単位：パーセント）



### 重要度が高いのは

項目の中で、「とても重要」「やや重要」を合わせた重要度では、各地の大雨による災害などの影響もあり、「防犯・防災・消防など危機的管理の安心度」が84.9%と最も高く、続いて「保健医療などの充実度」の84.4%、「交通安全対策による安心度」の84.0%、「高齢者・障がい者などにとっての暮らしやすさ」の82.8%という順になっています（左表参照）。

これらは、昨年も上位を占めており、安心して暮らせるまちづくりへの市民の皆さんの期待と関心の高さがうかがえました。

### 満足度が高いのは

項目の中で、「とても満足」「やや満足」を合わせた満足度が高かったのは、「上下水道・ごみ・し尿など生活基盤の充実度」の33.2%、「町並み・歴史などの美しさ」の26.5%、「公園や緑地などの環境づくり」の25.7%、「保健医療などの充実度」の17.4%、「環境問題の取り組みや自然保護など環境への配慮」の14.9%という順になっています。

これらは、重要度と同様に昨年も上位を占めており、本市が取り組んでいる公共下水道の整備や浄化槽整備推進事業をはじめ、歴史遺産や豊かな自然に恵まれた環境の整備が評価されているものと思われます。

また、対象者としては府内トップクラスである0歳～中学3年生までの子どもへの医療費助成などの保健福祉事業の推進も、満足度の高さの一因となっているものと考えられます。

お忙しい中、アンケートにご協力いただいた市民の皆さん、ありがとうございました。  
本市では市民の皆さんからいただいた、貴重なご意見を参考にしながら、今後の市の施策に生かしていきます。  
なお、市民アンケート調査結果の詳細は、市ウェブサイトの各課のページ（①は「人権政策課」、②は「情報公開課」）からご覧いただけます。

問い合わせ 情報公開課（内線181）

